

# 平成29年度病虫害発生予察指導情報

## 対象病虫害：斑点米カメムシ類（No. 5）

平成29年8月16日  
鳥取県病虫害防除所

### 1 情報の内容

8月10～12日に行った巡回調査定点における穂揃い期～乳熟期の本田すくい取り調査の結果、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は67.4%（平年：65.5%）で、平年並であった。

穂揃い期～乳熟初期にかけて防除を行っていない早生品種（ひとめぼれ、コシヒカリ等）栽培ほ場では直ちに防除を行うとともに、周辺に発生源（イネ科雑草）の多いほ場では防除後も発生状況に注意し、要防除水準を超えている場合は直ちに防除を行う。

### 2 発生状況

(1) 8月12日現在、水田内では、アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどの発生が認められる。発生ほ場率は67.4%（平年：65.5%）、要防除水準を超えているほ場率は35.8%（平年：35.3%）、平均すくい取り虫数は6.7頭（捕虫網25往復50回振り虫数、平年：7.0頭）と平年並であった。

(2) カメムシ類の発生状況は、ほ場間差が大きく、穂揃い期～乳熟初期にかけて防除を行っていないほ場、周辺に発生源（出穂したイネ科雑草等）が多いほ場での発生が多い傾向である。

### 3 防除上注意すべき事項

(1) 7月末～8月上旬に出穂期を迎えたほ場（ひとめぼれ、コシヒカリなど）で、穂揃い期～乳熟初期にかけて防除を行っていないほ場では直ちに防除を行う。

また、防除を行ったほ場においても、周辺に発生源発の多い場合は防除後も発生状況に注意し、要防除水準を超えている場合は追加防除を行う。

(2) これから穂揃い期を迎えるほ場（中生品種など）では、穂揃い期～乳熟初期の基本防除を徹底する。その後も発生が多い場合には、7～10日後に追加防除を行う。

また、出穂20日前頃に水田周辺のイネ科雑草地、畦畔などの草刈りを行っていない場合は、先ず、穂揃い期～乳熟初期に草刈りを行い、草刈り後直ちに防除する。

(3) 水田内で穂をつけたヒエ類は、カメムシ類の発生を助長するので直ちに取り除く。